

# 共に Challenge

～挑戦するから成長できる～ NO.8

## 第3回定期テスト、各教科担任の先生からアドバイスです。

### 国語

1点でも多く取ろうという意欲が感じられる答案が多かったです。一方で、もったいない失点が目立つ答案もありました。今後の学習のポイントとして、学校では以下のことを指導しました。

#### ①文法事項の復習を。

今回のテストでは単語に分ける問題と単語の識別問題を出題しました。

1, 2年生の既習事項ですが、理解できていない人が多かったです。不安がある人は、学力診断調査に向けて復習をしましょう。

#### ②説明不足での失点を防ぐ。

特に小説の読解問題で多いことですが、頭の中では言いたいことはイメージできているにもかかわらず、言葉が足りないために減点になってしまうことがあります。国語は、頭の中にあるものを言語化する力が求められる教科です。説明を丁寧にするように心掛けましょう。

#### ③ワークやサイドブックの答え合わせを丁寧に行う。

文で答える問題は、自分の力で解いていると、必ずしも模範解答と一字一句同じになるわけではありません。そんなとき、「なんとなく正解しているだろう」の感覚で丸をつけてしまうのではなく、模範解答と自分の解答を照らし合わせて、必要な言葉は何なのか、文末や字数の条件は合っているのか等、丁寧に確認して答え合わせをすることが大切です。判断に迷う場合は、いつでも相談に来てください。地道な作業が大きな力に繋がります！



### 社会

今回のテストは公民でした。人権、日本国憲法、民主政治、国の政治の仕組みを中心に出题しました。

今回のテストは、ワークや授業プリントの問題からも多く出題しました。正答率が非常に高く、テスト対策をしっかりとってきたことが伝わりました。しかし、漢字で書く問題や平和主義にかかわる問題で正答できず、得点をできなかった生徒が数多くいました。

漢字で書く問題は、漢字の意味を押さえておくと理解が深まります。

例えば、「国事行為」は「国のことを行う行為」、「三審制」は「三回、審議をできる制度」、「議院内閣制」は「議院（国会）と内閣が強く結びついている制度」となります。

平和主義に関わる問題は、現在の政治状況でも大きな課題となっていることが多いので確実に理解しておきましょう。入試等では、こういった時事と問題が結び付くことが非常に多いです。憲法改正や、憲法9条については、自衛隊の明記が昨今の政治の論点になっています。憲法の内容を確実に理解し、集団的自衛権の意味を理解しておきましょう。

今後の授業でも、今回のテストを踏まえた指導をしていきます。



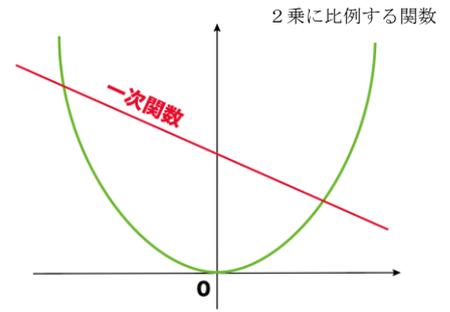
## 数学

計算分野では、第2回学力診断調査や入試で出題されやすい問題を出題しました。事前に配付した計算プリントで練習した人も多く、よく解けていました。ここで解けなかった計算がある人は、自分のミスや苦手を分析して確実に解けるように復習しておくことが定着への近道です。

関数分野では、2乗に比例する関数を中心に、グラフや変化の仕方の特徴などの基本から、図形の動点、身の回りにある関数、1次関数と交わる問題などの応用まで幅広く出題しました。教科書やワークなどで既習の問題が多かったため、授業で集中して取り組み、しっかりノートに書き込み、家庭での復習を主体的に行っている生徒の皆さんは、応用問題もよく解けていました。

図形分野は、三角形の相似について出題しましたが、相似条件はほとんどの生徒が正しく答えられており、たいへん多くの生徒が基本的な相似の証明の手順を身に付けていました。

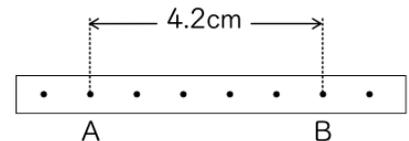
今回のテストでは、3年生の皆さんの地道な努力が基礎的な学力の向上として表れてきていることを感じました。しかし、今後は入試を含め、範囲のない実力テストが待ち構えています。3年での学習内容はもちろんのこと、1, 2年の学習内容の中で理解が不十分な分野についても、多くの類似問題を解き、慣れることで身につけていきます。ぜひ、継続して主体的に学んでいって欲しいと思います。



## 理科

今回のテストは『運動とエネルギー』からの出題でした。やはり、記述問題での説明不足が気になりました。今後の学習のポイントとして、学校では以下のことを指導しました。

ワークや問題集で出てきた記述問題を自分の感覚で採点せず、ぜひ先生に質問しに来てください。授業の中で行った実験でまとめた言葉や記述が、日常生活の他の運動に目を向けたとき、どの運動で同じような説明ができるのか、と考えることが重要です。今後の学力診断調査や入試では上記のような、授業で習ったことを活かして、他の自然事象ではどうなるか、を考えて答える問題が多く出されます。勉強をしながら周りに目を向けて、「他の事象ではどう説明ができるんだろう」と、たくさん考えてみてください。



## 英語

今回は関係代名詞（目的格語）と後置修飾、間接疑問文を主に出了ました。生徒にはテスト返却の際に以下のことを主に指導しました。

①関係代名詞（目的語）のときの語順に注意しましょう。

○Who is the girl that **you are** looking at?

×Who is the girl that **are you** looking at?

先行詞（修飾される語）の後ろは主語＋動詞の語順である。

②細かいミスがまだ多いから注意をして書くこと。(例)文中なのに単語を大文字で書く。Yes' he does.のような点の打ち方が違う。\*befor(before)、\*went(want)などの綴りミスに注意しよう。

第2回定期テスト以降、授業の初めに日本語で問題を出して英語で書く練習をしてきました。そのことが役に立っていると実感している生徒が多いことがアンケートから分かったので、引き続き行い英語を書く力を伸ばす指導をしていきます。

